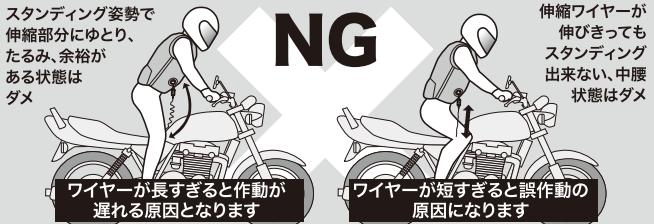
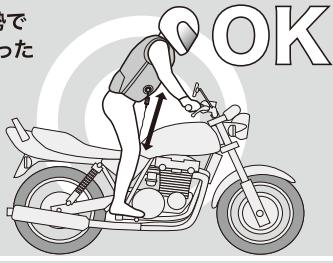


## 伸縮ワイヤーの長さ調節方法

バイクにまたがりスタンディングし伸縮ワイヤーの伸縮部分が伸びきった状態にする

スタンディング姿勢で  
伸縮部分が伸びきった  
状態



スクーター例 1



車上でスタンディングし  
伸縮部分が伸びきった状態

スクーター例 2



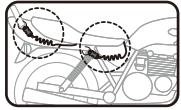
地面からスタンディングし  
伸縮部分が伸びきった状態

スクーター例 3



後部ステップからスタンディ  
ングし(中腰程度)伸縮部分  
が伸びきった状態

バイクの大きさ車種、ご自身の身長によって伸縮ワイヤーの取付位置、長さが異なります。  
上記を参考にご自身にあった方法で調節して下さい。

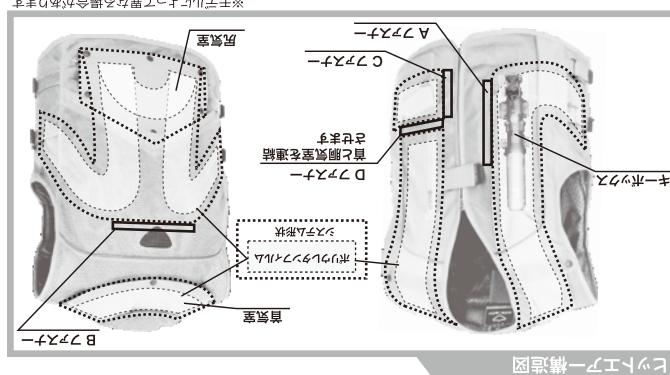
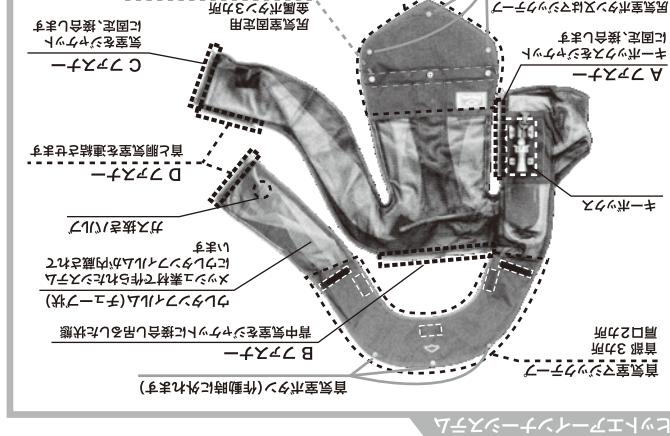


《別売》収納用ワンタッチコネクター  
バイクを降りた時にワイヤーを収納固定出来ます

23

14

21



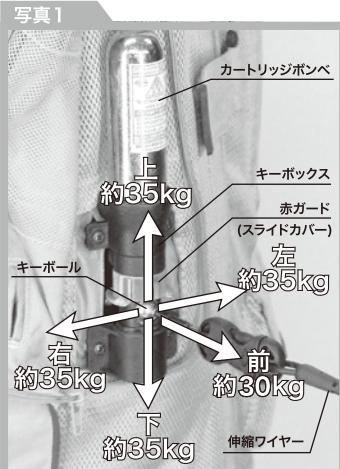
4-6 工場一體造

## 4-3 キーボックス

### ○キーボックス

この装置(写真1)は、通常約30kg～35kg程度で伸縮ワイヤーを引っ張る力により、キーボールが抜けて、キーボックス内に組み込まれている圧縮バネと針が運動し、カートリッジボンベの底部(封板)に穴を開けて炭酸ガスを送り、作動させます。着用時、前方どの方向から引っ張られてもキーボールが抜ける仕組みとなっています。

**警告!** キーボックスを分解したり、部品をはずさないで下さい。



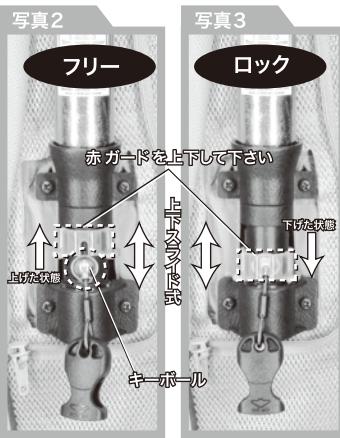
### ○赤ガード(スライドカバー)

赤ガード(スライドカバー)は、使用時は必ず上(フリー)の位置にして下さい(写真2)。赤ガードは、キーボックス再生の際にキーボールが正しくセットされたかを確認するためのバーツです(写真3)。

キーボールが正しくセットされていないと赤ガードは下にスライドしません。

**警告!** 1. 赤ガードが下にスライドされたロックの状態(写真3)では、アクシデントの際に作動しない恐れがあります。また、キーボールがキーボックスから抜けない場合、バイクと繋がったままになり大きな事故につながる危険性があります。使用時は必ず赤ガードを上(フリー)の位置にある事を確認して下さい(写真2)。

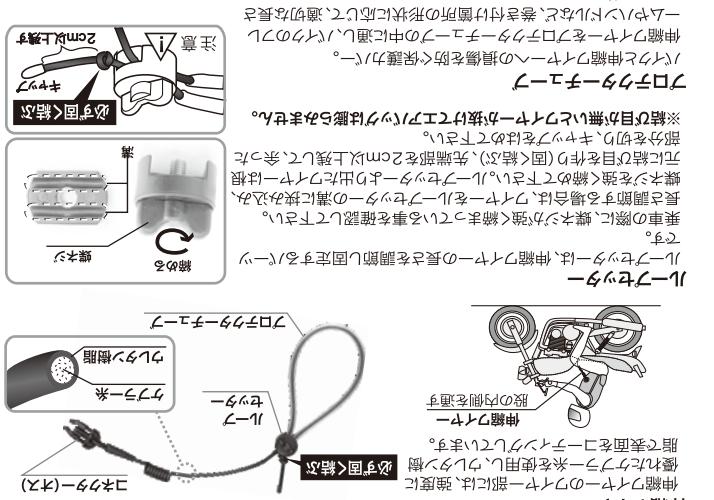
**注意!** 2. 赤ガードがロックの状態(写真3)でも、大きな力で引っ張られた場合、キーボックスが壊れ作動する事があります。また、直ぐに作動しなくとも、赤ガードを戻した時などに、急に作動する場合があります。



12

21

14



警告! 1. 伸縮ワイヤーが長い場合は、組み立てる際は、各部の重ね合わせを確認してから使用して下さい。

2. 伸縮ワイヤーと一緒に運搬する際は、必ず各部の組み立て方を確認してから使用して下さい。

5-2 伸縮マントルスリーブの固定接続